

沈まぬ 太陽



K E N W A T A N A B E

原作:山崎豊子「沈まぬ太陽」(新潮文庫刊)

渡辺 謙 三浦友和 松雪泰子 鈴木京香 石坂浩二

製作総指揮:角川歴彦

監督:若松節朗 脚本:西岡琢也 音楽:住友紀人

撮影:長沼六男 照明:中須浩士 録音:那 弘道 美術:小川富美夫 編集:新井孝夫

製作:「沈まぬ太陽」製作委員会 製作プロダクション:角川映画 配給:東宝 監製:角川 11-11-05 ©2009 沈まぬ太陽製作委員会

10.24

shizumanu-taiyo.jp

国民的作家 山崎豊子×名優 渡辺 謙

累計550万部超の国民的大ベストセラーが、
発売から10年にして遂に映像化が決定。
観るものの魂を震わせる感動巨編、遂にスクリーンに登場。

「白い巨塔」「華麗なる一族」「不毛地帯」「大地の子」など、人間の本质を世に問う長編小説を次々に手がける国民的作家・山崎豊子。その珠玉の原作の中で、未だ映像化されていない最高傑作『沈まぬ太陽』が日本映画史上最大のスケールで10月、遂にスクリーンに登場する。

物語は日本が高度経済成長を実現し世界経済の頂点へと上りつめていく時代。巨大組織の中で翻弄されながらも、不屈の精神を持ち続け、自らの信念を貫く一人の男・恩地 元。その生き様を通して、人間の尊厳と、飽くなき闘志と再生を描く、壮大なる人間叙事詩だ。

『沈まぬ太陽』映像化にあたっては日本映画界最高のスタッフ&キャストが集結した。注目のキャストは日本映画最高の顔ぶれが揃った。主人公・恩地 元には日本が世界に誇る名優、渡辺 謙。今やハリウッドを舞台に活躍し、世界中が認めるその演技力で恩地という男の不屈の姿をスクリーンに焼き付けることになる。そして、恩地の同僚ながらも袂を分かち対照的なエリートコースを歩む行天四郎に実力派俳優の三浦友和、恩地の同僚で行天の愛人・三井美樹に松雪泰子、恩地の妻・りつ子に鈴木京香、さらに政府より巨大企業

の再建を託される国見会長を石坂浩二が演じる。くわえて、豪華俳優陣が数々のシーンを彩り、まさに、オールスターキャストと呼ぶべき顔ぶれが、本作で一堂に会した。

監督は日本映画の金字塔「ホホワイトアウト」を手がけた若松節朗。自身の念願であった『沈まぬ太陽』映画化に全身全霊を込め、9年ぶりに大作映画の演出を手がける。脚本には、「陽はまた昇る」で白熱の企業ドラマを手掛けたベテラン・西岡琢也。音楽・住友紀人(「ホホワイトアウト」「アンフェア」)、撮影・長沼六男(「武士の一分」「たそがれ清兵衛」)、照明・中須岳士(「武士の一分」「母べえ」)、美術・小川富美夫(「おくりびと」「椿三十郎」)、録音・郡 弘道(「それでもボクはやってない」「子ぎつねヘレン」)ら、最高の技術スタッフが集結した。

昭和40年代から、60年代という、終戦から復興を遂げた日本が経済大国へと急成長した激動の時代。未曾有の航空事故、政界汚職という波乱の舞台は、日本のみならず、中東、アフリカ、アメリカへと壮大なスケールで展開し、感動と慟哭の熱い人間ドラマが、3時間を超える大巨編としてスクリーンに登場。

本年度最高の話題作『沈まぬ太陽』に、どうぞご期待ください。



TOMOKAZU
MIURA



YASUKO
MATSUYUKI



KEN
WATANABE



KYOKA
SUZUKI



KOJI
ISHIZAKA

10月24日(土) 東宝系公開